



# “ジュネーブから今を見る” 今日のヘッドライン

アジア

2015年1月14日

## 中国、原油価格下落は悪い話ではない可能性も

2014年中国の貿易の通年の伸びは政府目標を下回りましたが、2014年12月のデータを見ると米国への輸出の拡大、原油輸入の回復などで底打ちの兆しも見られ、2015年中国景気の下支え要因となる可能性もあると見ています。

### 中国貿易統計：12月の輸出、輸入ともに市場予想を上回る

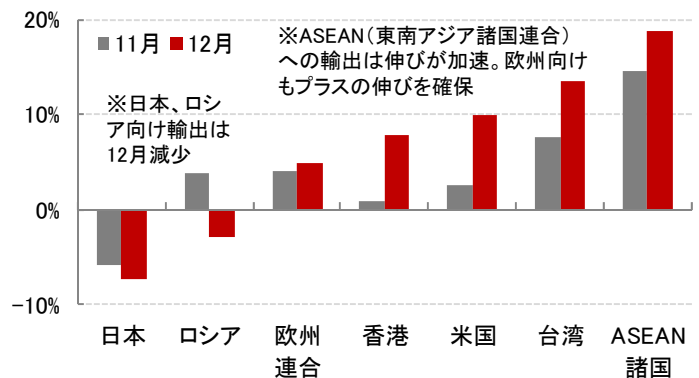
中国税関当局が2015年1月13日に発表した2014年12月の中国貿易統計は、輸出、輸入共に市場予想を上回る伸びとなりました。輸出はドル建てで前年同月比9.7%増と市場予想の同6.0%を上回りました。また、輸入は同2.4%の減少と2カ月連続のマイナスとなりましたが、市場予想(同6.2%の減少)を上回りました。地域別では、欧州や日本向け輸出は軟調でしたが、景気が改善する米国からの需要が輸出を押し上げた格好です。

輸出と輸入を合わせた2014年の貿易の伸びは3.4%と政府の通年目標である7.5%を下回りました。中国の商務省は下期が予想外に軟調だったことから、輸出が目標に届かないとの見通しをすでに示していました。

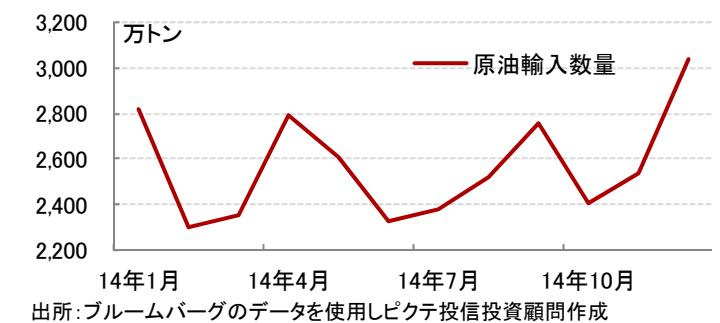
高に達するなどコモディティ価格の下落に伴い取引量を増やしている格好です。報道等によると最大の原油輸入国である中国は、価格下落を捉えて戦略的に原油の備蓄を増加させている模様です。

2015年中国の経済成長率について市場では7%程度への減速が見込まれていますが、米国など先進国の回復による貿易拡大を過小評価している可能性もあると見ています。

図表1: 中国貿易相手国別輸出(前年同月比)の推移  
(前年同月比、期間: 2013年11月、12月～2014年11月、12月)



図表2: 中国の原油輸入数量の推移  
(月次、期間: 2014年1月～2014年12月)



### どこに注目すべきか

#### 中国貿易統計、米国経済見通し、石油備蓄

2014年の中国の貿易の伸び3.4%は政府の通年目標を下回っていますが、2014年12月のデータを見ると米国への輸出の拡大、原油輸入の回復など一部に底打ちの兆しも見られ、2015年中国景気の下支え要因となる可能性もあると見ています。まず、輸出額は景気回復が期待されている国、地域を中心に堅調な伸びを維持しています(図表1参照)。中国の輸出相手国別貿易額を前年同月比で見ると、アジアへの輸出(ASEAN、台湾など)が加速しています。また単一国としては最大の貿易相手国である米国との輸出も伸びが加速しています。特に、米国は世界銀行が公表した最新の経済見通しでも2015年の成長率は3.2%と前回の見通しから上方修正されるなど、景気回復のモメンタムを維持しています。

次に、12月の中国の輸入の減少が小幅だった背景は、商品相場で原油などの購入を活発化させたため輸入が下支えされたことが主な要因と見られます。中国の12月の原油輸入量は3,037万トン、日量715万バレルとなり、日量700万バレルの大会を初めて突破しました(図表2参照)。鉄鉱石輸入も過去最

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

